

第1楽章

表の見方 小節での + - は、練習番号から数えて何小節、練習番号の前何小節という意味です。
パートに記入がないときは、両方のパートに適用されます。

練習番号	小節	パート	
			* この楽章、前打音はすべて拍の前に出してください。
冒頭			Kraftig. Entschieden. 「活気のある、活き活きとした、強勢のある、断固として」
4	-7	Vn I	トレモロの最初のダウンボウを長めに(重みをつける)。練習番号4も。3分割のディヴィジ。
4	5		Nicht schleppen. 「遅れないで 引きずらないで」
	7		3つ振りになります。
	8	Vn II	Doppelgriff 「重音で」
5	-8		Bewegt. 「活発に」 デイミュエンドをしっかり。 <i>fff</i> から <i>mf</i> まで。
5	-7		Gewöhnliche Lage. 「普通のポジションで」 * BのトレモロをG線で弾かなくていい。
8	-2		drängend. 「前へ、せき込んで」
8			Sempre l'istesso Tempo Nicht eilen. 「(拍が変わっても)ずっと同じ速さで。急がない」
11			Immer das gleiche Tempo. 「ずっとテンポは同じ」
			Quasi Triller. 「ほとんどトリルのように」
			am Steg. 「駒寄り」
11	9	Vn I Solo	Fließend. 「流れるように」
			Unmerklich etwas bewegter 「気づかれないように、少しずつより動いて」
			*「気づかれないように Unmerklich 」はマーラーが好んで使う表現でどの曲にでも出てきます。
19	7		sich gänzlich verlierend 「皆一緒に消えていく」 * パート譜では欠落
20	-1		morendo 「消えるように」
20			Wie aus weiter Ferne. 「より遠く離れたところから(聴こえてくるように)」 * 練習番号36の6小節目も同じ
21			Die Hälfte 「半分の数で」
23	4		immer nur die Hälfte 「ずっと、ひたすら、半分で」
26			Schwungvoll. Immer dasselbe feurige Marcscstempo, ohne zu eilen. 「活気に満ちて。ずっと同じ情熱的な行進曲のテンポで。急がない」
27	-4		四分音符は拍通りに、短くならないように！
28			Breit gestrichen 「幅広く塗り込めるように。」
29	-7		Zeit lassen. 「時間をかける、慌てない。」
32	2		Vorwärts 「前へ」
34			Wieder a Tempo. Nicht eilen. 「再び元のテンポで。急がない。」
37			ersterbend 「消えいく」
40			Sehr zart. 「とても柔らかく、優しく」
45			前後3小節間のアクセントをお忘れなく。
46	5		4拍目ウラで「スビト <i>mf</i> 」です。
50	5		5小節目からアツチュランドしますが、練習番号51の5小節目では加速をやめて一定のテンポにしてください。
51	-2		Streicher mit furchtbarer Gewalt. 「弦楽器は、めいっばい力強く」
			Immer noch drängend 「今もなおずっと、テンポを前へ、せき込んで」
57			Schwer. Etwas (aber unmerklich) zurückhaltend 「重々しく、少し(しかし、気づかれないように)落ち着いて、おさまって。」
58	-1		Nicht schleppen. 「遅れないで 引きずらないで」
69	-1	Vn I	Keine Triole. 「三連符ではない」
68	-3		4拍目で「スビト <i>f</i> 」です。
	-1		4拍目で「スビト <i>ff</i> 」です。
69	6		Mit grossem Ausdruck 「大げさな表現づけで」
72			Schwungvoll. 「活気に満ちて。」
73	-2		メガネマークを書いてください。…スコアには「指揮者はここで大見得を切つて振りかぶる」とあるので、齊藤先生はそうするそうです。飛び跳ねる？
74	2		Etwas gehaltener. 「いくぶんゆっくりと」
	5		Wieder vorwärts. 「再び前へ」
75			drängend. 「せき込んで」
75	6		Doppelgriff col legno 「重音で」 コル・レーニョ
最後	-3		Mit höchster Kraft. 「絶えず最大の音量で」 <i>sf</i> をしっかり！
最後			scharf abrisssen. 「鋭く引き裂くように」

第2楽章

練習	小節	パート	
冒頭			Tempo di Menuetto Sehr mäßig. Ja nicht eilen! 「メヌエットのテンポで、きわめて穏やかに、決して急がない！」
			*「メヌエットのテンポで」あるとことを終始お忘れなく。
2	-2	Vn II	リタルダントしていても16分音符は短いまま
	-5		Nicht eilen. 3拍目の三連符は「急がない。」
	8	Vn I	Grazzioso 「優美に」 * ここからのフレーズで、10小節と12小節目の1拍目が八分音符と四分音符と異なることに注意。
3	-3	Vn I	スビト <i>pp</i>
	-1	Vn I	mit dem bogen geschlagen 「弓で叩く(コル・レーニョではない)」 ここから9小節間下段のみ
	11	Vn I	Die ersten 4 Pulte 「前から4ブルトで」上段を弾く。
	9	Vn I	spr. Bogen. = Spring Bogen 「跳ねる弓で」
5		Vn I	mit dem bogen geschlagen 「弓で叩く(コル・レーニョではない)」 ここから4小節間。
	7		Etwas drängender 「少し前へ(せき込んで)」 ここから5小節間、少しずつ速くする。
6		Vn I	ここからのフレーズも八分音符と四分音符の違いに注意。
	9		スビト <i>p</i>
7	4	Vn I	Nicht eilen! 3拍目の三連符は「急がない。」
8	-7	Vn I	Fis → E デイミュエンドを明確に
	-4	Vn II	ohne Betonungen 「アクセントなし」、前の小節までのアクセントをここから明確につけない。
8			ここからのフレーズ。スタカートが付いていない三連符は短くしないで。
	4		スビト <i>pp</i>
9	-8	Vn I	ここから5(1番上の段)コル・レーニョ
	-4	Vn I	スビト <i>p</i>
10			Allmählich etwas bewegter 「徐々に少しずつより動いて」 練習番号14まで有効です。 * マーラーがよく使う表現です。
11			schwungvoll 「活気に満ちて」 練習番号10より少しテンポアップ。
12	-5, -3		ohne Nachschlag 「後打音なし」
14	-1	Vn I	Ganz plötzlich wieder gemächlich. (Wie im Anfang.) 「突然、再び、(最初のように、)決して急がない」 3拍目「突然テンポを戻す(冒頭のテンポ)。」
14	9	Vn I	スビト <i>pp</i>
16			Schwungvoll. 「活気に満ちて。」
			* a Tempo ですが、音符が多いのでやや遅めで。しかし、練習番号17からはメロディーが他に移るので拍にちゃんと合わせるように。
	3		スビト <i>pp</i>
19	4		Zeit lassen. Etwas zurückhaltend 「時間をかける、慌てない。」「いくぶん落ち着いて」
最後			この楽章の最後の小節に入るとき「待たない」です。

第3楽章

練習No	小節	パート	
冒頭			Comodo. Scherzando. Ohne Hast 「気楽なスケルツァンド。急がない」
4	8		ohne Nachschlag 「後打音なし」
6			Wieder sehr gemächlichen, wie zu Anfang 「再び、最初のように、決して急がない」
9	-8		上段(オモテ)の2拍目のアクセントはしっかりと!
12			Ein wenig, aber merklich, langsamer 「少しだけ、しかし、それとわかるように遅く」
15	-10		Zeit lassen 「時間をかける、慌てない」
15	-3		gänzlich verschwindend 「全体として消えさせる」
17			Mit geheimnisvoller Hast! 「神秘的に、急いで(慌てて)」 * Tempo I では Ohne Hast なので矛盾していますが... am Steg. 「駒寄り」
19			Lustig 「陽気に、楽しく」
20	3		f は明確に f と区別してください。
22			übermüthig 「高揚して」
	5	Vn II	mit dem bogen geschlagen 「弓で叩く(コル・レーニョではない)」 5小節先の natürlich で普通の弾き方に戻る
23			Grob. 「粗く、ザラザラした」
24	5	Vn I	strich für strich 「ひと弓、ひと弓」前の小節と違ってスラーではなく弓を返して。
25	7		ここから3小節間は「スピト sf p 」です。
26	-4		Sehr drängend 「非常にせき込んで」 Vn Iはスピト p です。
26			Vorwärts 「前へ」
	7		Etwas zurückhaltend 「いくぶん、控えめに(感情を抑えて)」
	7	Vn I	4 fach geth. die erste Stimme stärker besetzt, die anderen zu gleichen Theilen. 「4分割のディヴィジで第1のパートがより強くなるよう割り当て、残る他のパートは均等に分割(ディヴィジ)する。」
	11		Immer noch zurückhaltend 「この後もずっと、控えめに(感情を抑えて)」 am Steg. 「駒寄り」
28			Wie nachhorchend! Langsam, verkleinend 「耳に残る余韻! だんだん小さくなって消えさせる(これはポストホルンへの指示)」 弦に対する指示は Langsam と Griffbrett. のみ。「遅く」「指板上で」
30			Wieder lebhaft und schneller als zu Anfang. 「再び、はじめのように、活き活きと加速して」
	7		Drängend. 「せき込んで」
31			Wieder etwas zurückhaltend 「再び、少し遅く(後ろに引っ張られる感じ)」
32			Sofort wieder Tempo I (Nicht eilen) 直ちに、再び元のテンポで(急がない)
33	-1	Vn I	この1小節を am Steg. 「駒寄り」で弾いた後、 wieder gewöhnlich 「再び、普通」の弓で弾きます。
	8	Vn II	col legno geschlagen 「コル・レーニョで叩く」 * 単にコル・レーニョの音だけでなく「叩く」イメージ。
	12	Vn I	col legno 普通の「コル・レーニョ」

第4楽章

練習No	小節	パート	
冒頭			Sehr Langsam, Misterioso, durchaus ppp. 「とても遅く、神秘的に、絶対的な(これまでにない) ppp 」
1	4	Vn I	geth. = getheilt 「分けて、ディヴィジ」
5			Sehr breit und Zurückhaltend 「非常に幅広く、且つ、控えめに(感情を抑えて)」
2			Breit. 「幅広く」の意。弓をたっぷり使ってめいっばい音を保つ。3小節目の三連符はホルンといっしょ。
4			kurz 「短く」フェルマータだけ短く
9			スピト ppp です!
	11	Vn I	Griffbrett. 「指板の上」
9	-5		この小節前に入る時、「 f 」=「カンマ」あり。歌手のブレスのための間。
10	-1		Zeit lassen 「時間をかける、慌てない」
	4		Drängend. 「せき込んで」
12	-1		オーボエはアッチェランドして(速いテンポ)でソフ・ファ・ラと吹くが Vn の出ではテンポは戻っている(遅いテンポ)。 二分音符を2つに分けて3連符2つとして捉えてください。ララシララ
	2		
最後			Folgt ohne Unterbrechung 「第5楽章へは中断することなく続けて」 第5楽章 Tacet

第6楽章

練習No	小節	パート	
冒頭			Langsam. Ruhevoll Empfundene. 「ゆるやかなテンポで。平安に満ち、感情を込めて」
			Sehr gebunden, Sehr ausdrucksvoll gesungen 「音の切れ目が全くないように、きわめて表情豊かに歌う」
2			アウフタクトはテヌート。
4		Vn I	ヴィブラートは控えめに。音の透明度を追求してください。
5	-3	Vn II	Div. 大事な箇所のため、どこを弾くかをなるべく早く決めてください。
5			Noch etwas bewegter (Alle Steigerungen des Tempo unmerklich vollziehen) 「少しずつより動いて(常に、気付かれぬようにテンポを上げていく)」
6			Griffbrett. 「指板の上」で弾く。
7	-4		Etwas zögernd. 「少し、いくぶん、ためらう」
7	2		drängend. 「押す、ガーッと行く」という感じで。情緒的指示です。
8	-4		Vorwärts gehen 「前へ進む」 Leidenschaftlich 「情熱的に」
9			Tempo I. Ruhevoll! Wieder Viertel taktieren 「最初のテンポ。平安に満ちて。再び4拍子で。」
10			Nicht eilen! 「急がない。」
11	-1	Vn I	Fis の音符(<>付き)を「ため息」のように全員でそろって弾けるように。
11			gesangvoll hervortretend 「歌うように(=歌謡性に満ちて)、表情豊かに。」
12			ここからの<>は「 pp 」の中で「 pp 」なので控えめに。練習番号14も依然として pp
13			Nicht mehr so breit 「もうこれ以上広がらない。」
14	7		Allmählich Leidenschaftlich 「徐々に情熱的に、熱をおびて」
15			Unmerklich Vorwärts 「気づかれぬように前へ」
15	4		スピト p です!
16		Vn II	Nicht schleppen. 「遅れないで 引きずらないで」
17			Sehr Leidenschaftlich 「きわめて情熱的に」 * ここからのクレシェンドの開始は必ず p から! 音に粘りを十分持たせて! * この箇所は音程がキモです! まず耳で憶えて自信持って弾きましょう。(数あるマーラーの旋律の中で最もVn弾き異利に尽きる箇所のひとつ!)
18	-2		クレシェンドの開始は p に落とす
18			Etwas breiter wie vorher 「少し、これまでより幅広く」
19			Zeit lassen. 「時間をかける、慌てない。」 * デミニュエンドの先は p です。
20	-4,-3		Drängend. 「前へ」 Sehr drängend. 「どンドン前へ」
	-2		この箇所たとえデミニュエンドがあっても(Vn II)、シンコーペーションにはアクセントつける。
20			練習番号20から21の間は2つ振り。
21	-5		Wieder zurückhaltend 「再び、落ち着いて」 * 「ガリツ」と荒げたアクセント!
21	5,6		短前音は前に出す
22	-2	Vn I	ここから2小節間のテヌートはしっかりと
22			Immer breiter 「ずっと、より幅広く」
	9		Unmerklich drängend. 「気づかれぬように前へ」
23	2		Mit höchster Kraft. Immer drängend. 「絶えず最大の音量で」「常に、前へ」
24			Wieder sehr bewegt 「再び、活発に」 * デミニュエンドの先は p です。練習番号25まで2つ振り。
26	-3		zu 4 gleichen Theilen. 「4つに均等に分割(ディヴィジ)」
26	6		Bis zum Schluss breit. 「最後まで幅広く」
28	5		Langsam. Anschwellen. 「ゆるやかなテンポで、音量を次第に増加させる」
32			Nicht mit roher Kraft. Gesättigten. Edeln Ton. 「粗野でザラザラした音でなく、飽和した、高貴な音で」
最後			最後の小節に入る時に待たない。アクセントもつけない。弓は3回返す(今のところ)。